

h) 安全な管理作業のために

作業の安全のポイント

- 作業の事前広報

作業を行う当日朝までに、教職員及び関係者に作業情報（内容、時間、作業者、留意点等）を周知徹底します。

- 作業にふさわしい服装

管理作業には動きやすい服装が向いています。また、熱中症対策からも帽子は必ず被るようにしましょう。作業用の手袋もあると便利ですが、作業や使いやすさに応じて軍手、革軍手、ゴム手袋等を使い分けましょう。



作業にふさわしい服装例

タオル、マフラー、スカーフ等带状のものは、機械に巻き込まれる恐れがあるので、身につけないようにします。

- 準備体操

作業を始める前に身体をほぐしたり、軽いストレッチを行います。

- 作業内容の確認

その日に行うべき作業を確認し、必要な資機材の準備をします。何人かで作業する時は、それぞれの分担や手順を打ち合わせます。その時に、予想される危険について、参加する全員と認識を共有します。

- 機械や道具、作業場所の点検

その日に使う機械や道具を用意し、数量を確認した上で、故障や不具合がないか点検します。また、作業を行うエリアに石や釘等が落ちてないか点検します。

ロープやコーン等で作業エリアをはっきりさせることも必要です。機械を使う作業の場合は、5m以上の安全領域の確保が必要です。

- 作業開始

作業を行う場所及びその周辺に、作業者以外の人がないことを確認した上で作業を開始します。子ども達が外で活動している時間にやむを得ず作業する場合は、作業者と子ども達の間に見張り要員を配置します。

作業の安全のポイント(続き)

- 作業の中断

作業を中断する場合は資機材を全て片付けるか、見張り要員を配置し、子ども達が資機材に触ることがないようにします。

- 後片付け

作業に使用した機械や道具を洗浄した上で、数量を確認し、保管場所に戻します。燃料やオイルは、補給しておきます。

作業エリアに異常がないことを確認した後に、ロープやコーン等、全てを片付けて使用制限を解除します。



機器類は洗浄してからしまします。

- 機器の整理整頓

機械や道具類、肥料などの資材は整理整頓を心がけましょう。

- 記録の記入

芝生記録に、その日の作業内容を記入します。



横浜市では定期的に芝生管理の研修会を実施しています。

しばふのおていれちゅう

おていれが おわるまで
しばふに はいらないでね



(4) 芝生のチェックと記録

天候や季節、使われ方等によって、芝生は日々変化しています。毎日の変化をチェックして記録に残し、その結果を利用や管理にフィードバックすることが大切です。

そして、日々の管理作業を記録することで、その校庭・園庭の芝生の特徴を把握することができ、問題や不具合が生じたときの原因の対処に役立ちます。また、翌年の年間管理計画や予算に反映することができ、芝生の質の維持向上に繋がられます。

a) チェックポイントと診断

◆ 芝生全体の様子

芝生の生育状況を把握するには、第一印象が重要です。ぱっと見た印象を5（とても元気そうに見える）から1（芝生に弾力がまったくない）までの5段階から選択します。それに「なんとなく元気がない」「昨日は元気があったけど今日は色がくすんでみえる」「色が鮮やかになった」などと一言添えておきます。

このチェックは生育している芝生に対しての印象で、芝生の密度は無関係とします。

PT	指 標	診断と対策
5	<ul style="list-style-type: none"> ●とても元気そうに見える ●足跡がほとんどつかない 	<ul style="list-style-type: none"> ●管理作業が順調に進んでいる
4	<ul style="list-style-type: none"> ●元気そうに見える ●足跡がつくがすぐに見えなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ●管理作業が順調に進んでいる
3	<ul style="list-style-type: none"> ●あまり生気が感じられない ●足跡がつくとしばらく残る 	<ul style="list-style-type: none"> ●管理作業でやり残していることがないか確認する ●土壌の水分を調べ乾燥の場合はすぐに散水を行う
2	<ul style="list-style-type: none"> ●葉が柔らかく感じる ●足跡がつくといつまでも残っている 	<ul style="list-style-type: none"> ●ダメージを受け始めている ●ダメージの原因を探る ●記録を確認し管理作業でやり残していることがないか確認する ●使用制限を検討する ●土壌の水分を調べ滞水の場合は水が引くまで利用を控える
1	<ul style="list-style-type: none"> ●芝生に弾力がまったくない ●葉が垂れたままである 	<ul style="list-style-type: none"> ●何らかのダメージを受けている ●使用制限を行う ●専門家に相談する






◆ 葉の伸び具合のチェック

前回のチェック時に比べて葉の伸び具合について3（旺盛に伸びている）から1（伸びていない）の3段階から選択します。このチェックは生育している芝生に対する印象で、芝生の密度は無関係とします。

PT	指 標	診断と対策
3	●旺盛に伸びている	<ul style="list-style-type: none"> ●管理作業が順調に進んでいる ●次の芝刈りを予定通り行う
2	●伸びている	<ul style="list-style-type: none"> ●管理作業が順調に進んでいる ●次の芝刈りを予定通り行う ●次の施肥のタイミングを確認する
1	<ul style="list-style-type: none"> ●伸びていない ●止まっている 	<ul style="list-style-type: none"> ●（生育期）施肥のやり残しがないか確認する ●（生育期）土壌の水分を調べ乾燥の場合はすぐに散水を行う ●（衰退期）休眠の準備であり心配はない
—	●休眠中	

◆ 色のチェック

芝生の第一印象は主として色の変化によります。肥料切れや乾燥等の影響も、色の変化として現れます。5（濃緑色）から1（白）までの5段階から選択します。このチェックは生育している芝生全体に対する色の印象で、芝生の密度は無関係とします。部分的に変色している場合は、平面図上に図示します。

PT	色	指 標	診断と対策
5		●濃緑色	●管理作業が順調に進んでいる
4		●緑色	<ul style="list-style-type: none"> ●管理作業が順調に進んでいる ●次の施肥のタイミングを確認する
3		<ul style="list-style-type: none"> ●淡緑色 ●白っぽい緑色 	<ul style="list-style-type: none"> ●管理作業でやり残していることがないか確認する ●（生育期）施肥のやり残しがないか確認する ●（生育期）土壌の水分を調べ乾燥の場合はすぐに散水を行う ●（衰退期）休眠の準備であり心配はない
2		<ul style="list-style-type: none"> ●黄色 ●黄色っぽい緑色 ●葉の根元のみが褐色 	<ul style="list-style-type: none"> ●（生育期）ダメージを受け始めている ●（生育期）ダメージの原因を探る ●（生育期）記録を確認し管理作業でやり残していることがないか確認する ●（生育期）施肥のやり残しがないか確認する ●（生育期）病害発生の可能性がある ●（生育期）土壌の水分を調べ乾燥の場合はすぐに散水を行う ●（衰退期）休眠の準備であり心配はない
1		<ul style="list-style-type: none"> ●白 ●淡い茶色 	<ul style="list-style-type: none"> ●（生育期）何らかのダメージを受けている可能性 ●（生育期）害虫の発生の可能性がある ●（生育期）専門家に相談する ●（休眠期）休眠

◆ 密度のチェック

葉や茎の数の変化をチェックします。5（高密度に生育）から1（裸地）までの5段階から選択します。このチェックは生育している部分に対しての密度チェックで、部分的に低密度化・裸地化している場合は、平面図上に図示します。

PT	指 標	診断と対策
5	●密生しており土が見えない	●管理作業が順調に進んでいる
4	●土が見えているが半分以上は植物である	●芝刈りの頻度と施肥量を増やすことを検討する ●養生による補修を検討する
3	●半分以上土が見えている	●芝刈りの頻度と施肥量を増やす ●養生による補修を行う
2	●裸地だが根や茎が残っている	●施肥量を増やす ●養生による補修に併せて目土を散布し、葉や茎が伸びて、ある程度地面を覆うまで待つ ●苗による補修を行うことを検討する
1	●裸地	●苗による補修を行う

◆ その他気付いた点

前のチェック時になかったこと（変色・裸地・穴等）や比較的頻繁に起こること（水たまり）を図示した上で記録しておきます。

PT	指 標	診断と対策
★	●直径20cm程度の円形の変色（黄色）	●猫や犬の糞尿による変色 ●心配ないが目土を入れると早く復旧する
★	●茎の根元に白い綿状のものが付着している	●糸状菌やキノコ等の菌糸 ●水をはじき乾燥しやすくなっているため、シャベル等で切れ込みを入れたり穴を開けたりする
★	●芝生の下に1cm弱の穴が空いている	●昆虫が羽化した跡 ●多数見られる場合には虫害発生の可能性があるので専門家に相談する
★	●芝生の下に濃い緑色の柔らかいものがついている	●藻類 ●排水不良のため藻類が発生・繁殖している ●すぐに枯死に繋がるわけではないが、透水性・通気性の悪化の兆候であるため更新作業（コアリング・バーチカルカッティング）を行い透水性・通気性を改善する

b) 子どもたちの参加

園児であれば、水まきや補修のための砂の散布、補修のほぐし苗の植え付けを一緒にやると良いでしょう。

小学生であれば、安全に配慮して、芝刈りを行う事も可能です。

雑草抜きをする場合には、芝生を抜いてしまわないように、実施前によく説明をしましょう。



砂はレジ袋に入れて散布します

c) 芝生の記録

日々の芝生チェックと併せて、利用内容や管理作業を記録することはとても重要です。

芝生チェックの各項目がどのように変化するかは、記録を取ることによって明確になります。また、より大きな視点から、季節や気候変化との関係、行事等利用状況との関係が判明し、その校庭や園庭に最適な芝生管理手法を考える上での資料となります。

これらの情報は管理者、利用者問わず、芝生に関わる全ての人で共有することが求められます。

(芝生記録用紙の例)

芝生記録

区 分	[]利用 []管理作業 []点検		
年 月 日	年	月	日
時 間	:	~	:
天 候			
団 体 名			
記 入 者			
参加人数	人 (大人 人 子ども 人)		
利用内容	スポーツ () []試合 []練習		
	行事利用 ()		
管理内容	[]芝刈り []散水		
	[]施肥 肥料名 () 施肥量 ()		
	その他 ()		
全体の様子	1 2 3 4 5	伸び具合	1 2 3
色	1 2 3 4 5	密 度	1 2 3 4 5
自由記入			
(写真添付)			

(専門家による芝生診断記録用紙の例)

芝 生 巡 回 報 告 書			提出日 月 日
件 名		受 付 番 号	
訪 問 日	平成 年 月 日	訪 問 者	
訪 問 場 所		施 設 担 当 者	
作業指示内容			
<input type="checkbox"/> 芝刈り			
<input type="checkbox"/> 肥料散布			
<input type="checkbox"/> 散水			
<input type="checkbox"/> その他			
芝生状況			
問題点			
写真			
報 告 者			